



横浜の一〇年

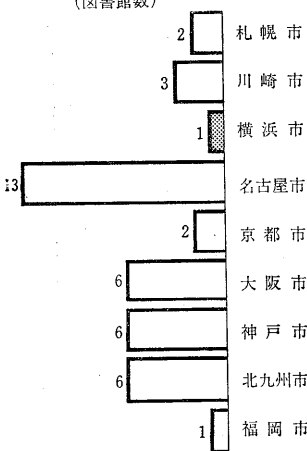
7 文化

横浜文化の創造をめざして

我が国の代表的な国際港を持つ横浜では、国際性豊かな文化を築くための一環として、世界の七つの都市と友好・姉妹都市の関係を結び、市民同志の交流が進められている(表-1)。昭和四十九年四月、アジアの三〇か国から選手が参加して開かれた第二回アジア卓球選手権大会は、海外との友好のために都市が果たす新しい役割を示したものと見える。

市民から希望の多い市立図書館は(図-40)、四十九年一〇月に磯子図書館が開設され、六〇年度までに合計九館とする予定であり、また、教育文化ホール、市民ギャラリー等を設けた教育文化センターは、四十九年七月に開館されたが、今後、広く市民や文化団体(図-41)の活動の場として、その役割が期待される。こうした施設整備と共に、市民文化の基盤として、開発によって破壊の恐れのある埋蔵文化財の保存や史跡、博物館等の整備も進められている(図-42)。

図-40 図書館数大都市比較 (49.7現在)
(図書館数)



[注] 市立図書館のみ
[資料] 横浜市図書館

表-1 横浜市の友好・姉妹都市

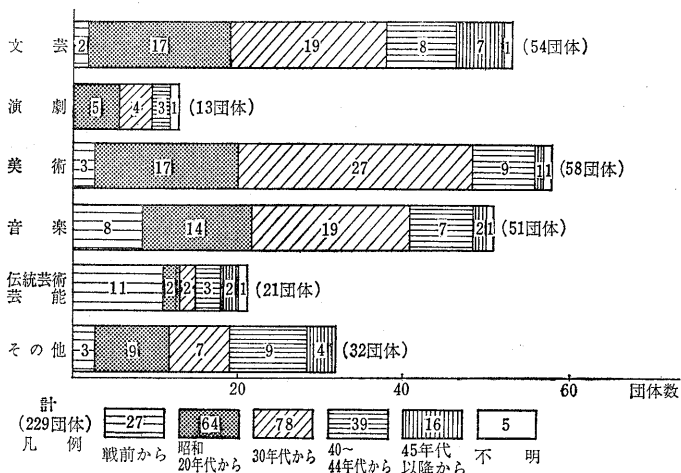
提携都市	所在国	提携年月日
サンディエゴ	アメリカ合衆国	昭和32・10・29
リヨン	フランス	昭和34・4・7
ボンベイ	インド	昭和40・6・26
オデッサ	ソ連	昭和40・7・1
バンクーバー	カナダ	昭和40・7・1
マニラ	フィリピン	昭和40・7・1
上海	中国	昭和48・11・30

[資料] 総務局



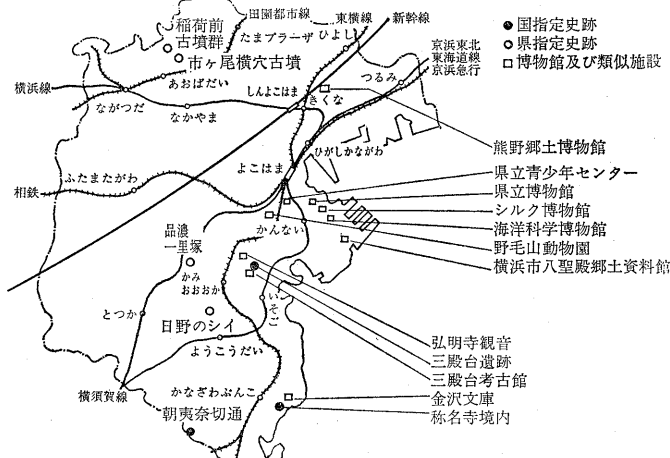
文化

図-41 文化団体とその活動期間 (48・1 現在)



【資料】教育委員会

図-42 横浜市内の史跡・博物館



【資料】「横浜の文化財」(教育委員会), 「横浜市統計書」